

ほほほ新聞

第七回 秋号
2005年10月発行



暑かった夏も終わり、朝晩冷えるようになってきました。
すっきり秋ですね。皆さん体調を崩しもしないでほしい。
しっかり健康管理に気を配り、元気で食欲の秋を満喫しましょう。



「白田昌史の現場から一言」

“屯岐へ帰る218年(歯科医師として)”

屯岐の島でもインプラント治療はできてますよ。
最近では屯岐の島もいろいろなマス・メディアによってインプラント治療の情報が入ってきます。
歯科の治療は時間がかかりましたので、いつまでも診察することのできる地元のかかりつけの
歯科医院がベストだと思います。それと口腔全体を診察することのできる入れ歯治療の経験が
豊富な歯科医師が良いかと思えます。

私も郷里へ帰って18年。最初は乳幼児・学童の治療から最近では高齢者の義歯
関係の治療と田舎では幅広い治療をやってきました。ある時は口腔外科医として、
深い位置にある水平埋伏知歯の抜歯、耳鼻咽喉科がわからず時は、ガン鑑別、
一人暮らしの老年寄りの難症例の植義歯、心療、内科的相相談
もいろいろあります。夜中に起き起こされて治療することもあります。もしかしてこれぞ「ドクター-IT」
これらもいろいろあります。がんばります。



歯科衛生士
久原からのメッセージ



定期健診

10月あるは27月1度フライングで通院
している患者様が増えてきました。自分で磨いて来て
磨けていない所ハアラシの当て方ハ指導をしいて
手拭シートははかれていますか。虫歯はありますか
歯肉の状態は良いか、チェック最後にホームジェル
を塗布して終了という内容でやります。

ところが来院して3ヶ月後インプラント保護者の中には「毎月歯医者に
通っているのにどうして虫歯に付るのか?」と言われる方がいら
っしゃいます。その保護者の口の中を赤く染め出してみるとほと
んど歯が真っ赤です。か所の歯垢が付っています。磨いてきて?と
尋ねると「ちゃんと磨いてきて」と返事がかえります。来院した
時は歯磨きしてきれいになったと普段の歯磨きをちゃんと
してはいたけれど、意味がわかりません、予後インプラント虫歯に
ならないようにご家族の方の声を聞いてお願ひしたいと思つた。

前回よりも今回、今回より次回と来院されることに歯磨きが
上手になるように手助けしていきたく思っています。予約はフライング
ポイントもどんどん付いてきます。来院とご家族の皆様と協力
して予後インプラント虫歯にならないように守っていきましょう。



アムニシアポイント

おめでどう。
10ポイントためたキリッルガムゲット!

山口裕未さん (田河川5年)



裕未さんは毎月
一回、衛生士の
ハミガキ指導を
受けています。

衛生士の指導が上手な事を
ちゃんと守って毎回9時半に
磨けるようになりました。今では、ほぼ
完璧に磨けるようになりました。

この調子でこれからも頑張ろうね

お読みの本

社会人として大切なことはディズニードで
教わった。有取量信者
・ディズニードでアルバイトをすることを社会人
として必要な事と学んでいる。音読物語です。

